

平成 30 年 11 月

大 阪 市 医 学 会  
会 長 大 畑 建 治

大阪市医学会第 510 回例会を下記のとおり開催致しますので、お繰り合せの上御来聴下さるようご案内申し上げます。

## 記

日 時： 平成 30 年 12 月 20 日（木）午後 1 時 30 分～（予定）

場 所： 大阪市立大学医学部学舎 4F・大講義室

当番教室： 大阪市立大学大学院医学研究科  
麻酔科学

### 【普通演題：注意事項】

- 普通講演の発表は 1 題 15 分以内  
（13 分以内が発表で 2 分が質疑応答の時間とします）  
（講演時間終了 1 分前 ベル 1 回、終了時 13 分 ベル 2 回鳴ります）
- コンピュータは各自で用意して下さい。（スライドは不可）
- 討論は 2 分以内、発言者は所属と姓名を告げ、座長の許可を得て下さい。
- 次演者は所定の席に着席して下さい。

### 【学位論文審査会：注意事項】

- 審査時間は 1 人 25 分です。  
（10 分以内が発表で、約 15 分が質疑応答の時間とします）  
（発表時間開始 8 分後および 10 分後にベルが鳴ります）
- コンピュータは各自で用意して下さい。
- 審査開始時刻の 30 分前には発表会場の受付にお越し下さい。
- 次演者は所定の席に着席して下さい。

## 第 510 回 大阪市医学会例会プログラム

### ○普通演題

#### 1. Association of Albuminuria with Intraglomerular Hydrostatic Pressure and Insulin Resistance in Subjects with Impaired Fasting Glucose and/or Impaired Glucose Tolerance

糖代謝異常が存在すると糸球体内圧及びインスリン抵抗性がアルブミン尿と関連する

津田 昌宏	(大学院医学研究科・代謝内分泌病態内科学)
石村 栄治	(大学院医学研究科・腎臓病態内科学)
上殿 英記・越智 章展・	
仲谷 慎也・森岡 与明	(大学院医学研究科・代謝内分泌病態内科学)
森 克仁	(大学院医学研究科・腎臓病態内科学)
内田 潤次	(大学院医学研究科・泌尿器病態学)
絵本 正憲	(大学院医学研究科・代謝内分泌病態内科学)
仲谷 達也	(大学院医学研究科・泌尿器病態学)
稲葉 雅章	(大学院医学研究科・代謝内分泌病態内科学)

### 学位論文審査会

#### 1. 14 時 35 分～

##### Anatomical Analysis of the Human Ligamentum Flavum in the Thoracic Spine: Clinical Implications for Posterior Thoracic Spinal Surgery

胸椎黄色靭帯の解剖学的解析：胸椎後方手術における臨床的意義

Sayed Abdullah Ahmadi	(大学院医学研究科・整形外科*)
	【主査：中村 博亮 副査：中島 裕司・池田 一雄】

#### 2. 15 時 00 分～

##### Carbon Monoxide Releasing Molecule, CORM-3, Modulates Alveolar Macrophage M1/M2 Phenotype in Vitro

CO 供与体 CORM-3 は肺胞マクロファージ M1/M2 型分化を調節する

山本 寛子	(大学院医学研究科・心臓血管外科学)
	【主査：柴田 利彦 副査：鰐淵 英機・川口 知哉】

### 学位論文審査会 (12/11 開催)

#### 1. 15 時 00 分～ 市大病院 18 階 会議室 1

##### Dose-dependent Effect of Intravenous Administration of Human Umbilical Cord-derived Mesenchymal Stem Cells in Neonatal Stroke Mice

新生児脳梗塞マウスへの臍帯由来間葉系幹細胞治療とその用量依存的な効果

田中 えみ	(大学院医学研究科・発達小児医学*)
	【主査：濱崎 考史 副査：古山 将康・吉川 貴仁】

## 学位論文審査会 (12/21 開催)

1. 11時00分～ 市大病院 18階 会議室 2

The Molecular Basis of Chemical Chaperone Therapy for Oculocutaneous Albinism Type 1A  
眼皮膚白皮症 1A 型に対するケミカルシャペロン療法の分子的基盤

てらまえ あやこ  
寺前 彩子

(大学院医学研究科・皮膚病態学\*)

【主査：鶴田 大輔 副査：濱崎 考史・三浦 克之】

## 学位論文審査会 (12/25 開催)

1. 15時00分～ 市大学舎 12階 セミナー室

Changes in Plasma Interleukin-8 and Tumor Necrosis Factor- $\alpha$  Levels during the Early Treatment Period as a Predictor of the Response to Sorafenib in Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma

切除不能肝細胞癌に対するソラフェニブの効果予測因子としての血漿 IL-8 および TNF- $\alpha$  濃度の治療早期の変化

いいだ あやこ  
飯田 綾子

(大学院医学研究科・肝胆膵病態内科学\*)

【主査：河田 則文 副査：藤原 靖弘・川口 知哉】